

JSW Scar Scale (JSS) 2015 (ケロイド・肥厚性瘢痕 分類・評価表)						
分類表 (グレード判定・治療指針決定用)			評価表 (治療効果判定・経過観察用)			
リスク因子			1. 硬結			
1. 人種	黒色系人種	2	0: なし	1: 軽度	2: 中等度	3: 高度
	その他	1				
	白色系人種	0	2. 隆起 (図5)			
2. 家族性	あり	1	0: なし	1: 軽度	2: 中等度	3: 高度
	なし	0				
3. 数	多発	2	3. 瘢痕の赤さ (図6)			
	単発	0	0: なし	1: 軽度	2: 中等度	3: 高度
4. 部位	前胸部, 肩-肩甲部, 恥骨上部	2				
	その他	0				
5. 発症年齢	0歳-30歳	2	0: なし	1: 軽度	2: 中等度	3: 高度
	31歳-60歳	1				
	61歳-	0				
6. 原因	不明もしくは微細な傷(ざ瘡や虫刺され)	3	0: なし	1: 軽度	2: 中等度	3: 高度
	手術を含むある程度の大きさの傷	0				
現症			6. 掻痒			
7. 大きさ(最大径×最小径 cm ²)	20cm ² 以上	1	0: なし	1: 軽度	2: 中等度	3: 高度
	20cm ² 未満	0				
8. 垂直増大傾向(隆起) (図1)	あり	2	計 0-18			
	なし	0				
9. 水平拡大傾向 (図2)	あり	3	備考 軽度 : 症状が面積の1/3以下にある、または症状が間欠的なもの 高度 : 症状がほぼ全体にある、または症状が持続するもの 中等度 : 軽度でも高度でもないもの			
	なし	0				
10. 形状 (図3)	不整形あり	3	小川令, 赤石諭史, 秋田定伯, 岡部圭介, 清水史明, 須永中, 土佐泰祥, 長尾宗朝, 村尾尚規, 山脇聖子. 瘢痕・ケロイド治療研究会 ケロイド・肥厚性瘢痕 分類・評価ワーキンググループ. JSW Scar Scale. Available online at: http://www.scar-keloid.com/download.html			
	その他	0				
11. 周囲発赤浸潤 (図4)	あり	2				
	なし	0				
12. 自覚症状(疼痛・掻痒など)	常にあり	2				
	間欠的	1				
	なし	0				
計 0-25						
備考			分類表の使用法 *判定は初診時に行う (すでに治療が行われている場合問診を参考にし、治療前の症状を可能な限り評価する) *範囲の大きいものでは、症状が最も強い部分を評価する *複数あるものでは、それぞれにつき、4-12を個別に評価する(1-3は共通)			
0-5	正常瘢痕的性質 (治療抵抗性: 低リスク)					
6-15	肥厚性瘢痕的性質 (治療抵抗性: 中リスク)					
16-25	ケロイド的性質 (治療抵抗性: 高リスク)					

図1 垂直増大傾向（隆起）



あり



なし

図2 水平拡大傾向



あり



なし

図3 形状



不整形あり



不整形なし

図4 周囲発赤浸潤



あり



なし

図5 隆起



高度



軽度



中等度



なし



図6 瘢痕の赤さ



高度



中等度



軽度



なし

図7 周囲発赤浸潤



高度



中等度



軽度



なし